

生徒が主役の『先輩授業 day』がもたらす学びの循環と可能性

徳島県立富岡東高等学校羽ノ浦校 指導教諭 笠江 由美

1. 主題設定の理由

現代教育においては、学力向上だけでなく、学習意欲や主体性の向上が求められている。特に学びの主体が教師から生徒へとシフトし、生徒自らがリードできる環境を作り出すことが重要である。本校の学力向上推進プランにおいても、「生涯学び続ける力を育成するための自主的・主体的な学習習慣の確立」が重要な課題として掲げられている。また、5月の生徒総会では、生徒たちから「新しいことに挑戦したい」、「縦のつながりを感じたい」という意見が多く寄せられ、これらの声を反映させることが、生徒が主体的に学ぶ環境を整えるための重要な要素であると考えられる。そこで、筆者は、全校生徒が同じ時間に同じテーマで学び合う「先輩授業 day」を考案した。特に3年生が先生役を担うことで、学年間を超えた交流が生まれ、生徒同士の学びの循環が促進されることに加え、主体的な学びにつながると期待した。

2. 実践の概要

(1) 学校全体の動き

5月の職員会議で「先輩授業 day」の企画を提案し（図1）、教職員の理解と協力を得て実施が決定した。その後、3年生の数学授業で企画の目的と内容をプレゼンテーションし、担当クラスを発表することで、生徒の参加意欲を高めた。

	テーマ	1年 A組	1年 B組	2年 A組	2年 B組	3年 A組	3年 B組
5限 40分 先生役	新しい 折り紙 体験	3101	3105	3109	3113	先生 役	3117
		3102	3106	3110	3114		3118
		3103	3107	3111	3115		3119
		3104	3108	3112	3116		3120
15分	休憩・準備						
6限 40分 先生役	線で見 つける 可能性	3121	3125	3129	3133	3137	先生 役
		3122	3126	3130	3134	3138	
		3123	3127	3131	3135	3139	
		3124	3128	3132	3136		
15分	片付け・アンケート						

図1 先輩授業 day の構想

※3年1組1番の生徒が3101と表記、3101～3120が3年A組、3121～3139が3年B組

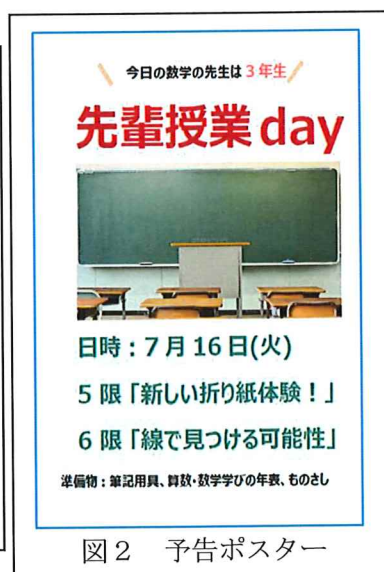


図2 予告ポスター

(2) 準備段階

6月に3年生の数学授業において先輩授業 day の準備時間として4時間を確保した。1時間目には、筆者がレクチャー授業、2時間目には、担当班に分かれて授業準備、3時間目には仲間にプレゼン授業、4時間目には授業構想を見直し、予告ポスター（図2）を作成した。予告ポスターは、本番1週間前から各教室に掲示すると、1・2年生はポスターを見て興味を持ち、教職員から3年生への励ましの言葉もあり、校内での関心が高まった。以下の表に4時間の流れを示す。

時間	3年A組の活動	3年B組の活動
1時間目	テーマ: 新しい折り紙体験 1) 長方形の紙に点を取り、その点に一番近い辺が重なるように折り目をたくさんつけ	テーマ: 線で見つける可能性 1) 正方形を2本の線で4等分する。ただし、4等分した図形は合同とする。何通りの

時間	3年A組の活動	3年B組の活動
	<p>る。折り続けると何が見えてくるもの</p> <p>2) 円形の紙に点を取り、その点に円周を重ね、折り目をたくさんつける。折り続けると何が見えてくるもの</p> <p>3) 長方形の紙に、円と円外の点を取り、点が演習場に重なるように折り線をたくさんつける。折り続けると何が見えてくるもの</p> <p>この3種類の折り紙の折り方を考察し、折り紙を通じて数学的な視点を養う。生徒同士でアイデアを共有し、考察を深める。</p>	<p>分け方があるか。</p> <p>2) 正三角形を3本の線で3等分する。ただし、3等分した図形は合同とする。何通りの分け方があるか。</p> <p>グループでのディスカッションを通じて、異なるアプローチを探る。</p> <p>具体的な分け方を考え理解を深める。</p>
2時間目	<p>授業準備時間 グループで授業内容を検討し、役割分担を決定。使用する教材や教具を準備。授業の進行方法や質問の仕方を話し合う。</p>	
3時間目	<p>プレ授業を実施 仲間に対して実際にミニ授業を行う。先生役を務める仲間からフィードバックを受けて改善点を見つけ、自信を持って授業を進めるための練習をする。</p>	
4時間目	<p>授業構想の見直し フィードバックを基に授業内容を修正する。ポスター作成が得意な生徒が、予告ポスターを担当し、視覚的にアピールする工夫をする。</p>	
その他	<p>4時間の授業準備では足りないと感じた生徒たちは、放課後や昼休みを利用して自主的に時間を見つけ、準備を進めた。具体的には、以下のような活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後の自主学習: グループで集まり、授業内容のブラッシュアップを行った。各自が考えた授業のポイントを共有し、フィードバックを行いながら内容を深めた。 ・Microsoft Teams の活用: 土日にタブレットを活用して、オンラインでのディスカッションを通じてアイデアを共有し、教材の作成を進めた。この際、各自が持ち寄った資料をもとに、効果的な教材を作成するための意見交換を行った。 ・個別の役割分担: 各自の得意分野を活かせるよう、役割分担を明確にし、効率的に準備を進めるための役割を決めた。例えば、ある生徒は資料作成を担当し、別の生徒はプレゼンテーションの練習を担当した。 	

(3) 先輩授業 day 当日の様子

当日、3年生は先生役として担当クラスに自分たちで考えた授業を実施した。授業テーマは統一されていたが、授業の進行は、生徒自身が考えた方法に基づいて行われた。ホワイトボードや手作り教具、タブレット、ワークシートなどを駆使し、グループワークを取り入れるなど、各クラスは工夫を凝らして授業を展開した。また、授業内容を身近に感じてもらう場面も取り入れ、数学の楽しさを伝えていた。

「新しい折り紙体験」の授業では、まずすべての教室で、折り方を丁寧に説明し、紙を何度も折ることで見えてくる形を確認



図3 紙を折る生徒の様子

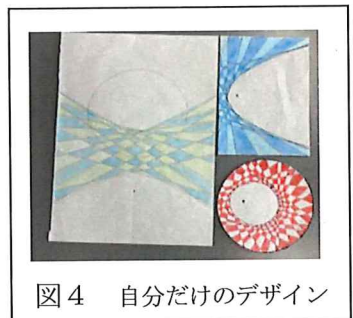


図4 自分だけのデザイン

した(図3)。その後、生徒たちは独自の授業展開に取り組んだ。具体的には、折り目にもものさしをあてて線を引き、色を塗り、自分だけのデザインを作成した(図4)。また、折り紙の紙に取った点を「焦点」と呼び、自分の目にも焦点があることを説明した。さらに、スマホ老眼チェックを行い、スマホ画面を長時間見続けることで焦点が一時的にずれる危険性をイラスト(図5)で示し、目を大切にすることの重要性についても話した。このように、折り方の確認後には多様な授業展開があり、生徒たちが創造性を発揮しながら学びを深める機会となっていた。

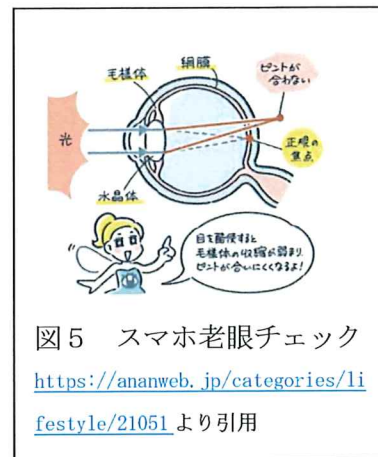


図5 スマホ老眼チェック
<https://ananweb.jp/categories/lifestyle/21051>より引用

また、「線で見つける可能性」の授業では、どの教室でも、均等に分ける方法が「無限」に存在することを伝えたいと、工夫を凝らして作成した教具(図6)を用いて授業を行った結果、「おー」、「なるほど」、「無限、すごい!」といった声上がり、先生役が期待していた反応を得ることができた。

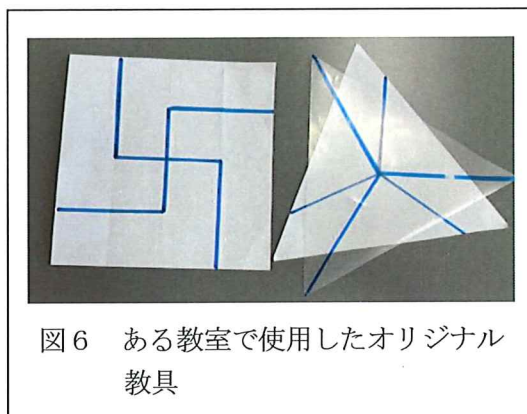


図6 ある教室で使用したオリジナル教具

また、すべての教室で、どの分け方にも必ず通る点があり、その点を「重心」と呼ぶことを説明した。ある教室では、靴底診断(図7)を通じて、重心のバランスが健康にどのように影響するかを伝える場面もあった。先輩授業 day では、スマホ老眼チェックや靴底診断を取り入れるなど、看護科の生徒らしい場面が多く見受けられた。



図7 靴底診断
<https://www.google.com/amp/s/medical.jiji.com/topics/amp/942>より引用

授業後には、全校生徒と全教職員にアンケートを実施し、フィードバックを収集した。

3. 成果と反応

(1) 先生役を担った3年生の変化

3年生にはアンケートを実施し、授業準備から実施後の気持ちの変化を尋ねた。初めて「先生役」を務めることを聞いたとき、「他学年との交流が楽しみな反面、うまく伝えられるか不安でもあります」、「理解することができても、教えるのは難しそう」という声があり、44%が「他の人に教えるのは不安」と感じていたが、準備を通じて自信が付き、「何とかなりそう」、「分かりやすく説明できるよう準備をして頑張りたい」と、前向きな意見が増加した。授業準備では、自分の得意なスキルを活かし、仲間と協力して授業内容の工夫を楽しみ、授業後のアンケートでは、85%が「もう一度先生役を務めたい」と回答した。教卓での授業進行に加え、タブレット活用や板書、掲示物のタイミング調整、授業サポートなど、自分の強みを発揮し、先輩授業の経験を通じて、自己成長を実感した生徒が多かったといえる。さらに、数学に対する意識にも変化が見られ、質問「数学が好きですか?」に対する回答は、5月時点で54%、本番前日に62%、先輩授業 day 終了後には72%に上昇した。このことから、学びに対する楽しさや積極的な姿勢が育まれたことが明らかとなった。

(2) 先輩授業を受けた1・2年生の反応

1・2年生の反応は非常に高く、授業の満足度については全員が「良かった」と回答している。特に、数学と身近なものをつなげる工夫が評価され、1年生からは「数学が日常生活にどのように活か

されるのかが分かった」、「スマホ老眼セルフチェックや重心の大切さをわかりやすく説明して、理解しやすくする工夫をしていた」、2年生からは「タブレットを活用したり、個別にサポートしたりしてくれる3年生がかっこよかった」という感想があった。生徒たちは、3年生の工夫やアイデアを通じて、数学の実用的な側面やICT活用の良さを実感した。

(3) 教職員の反応

先輩授業 day の取り組みは、教職員全員から高く評価された。特に「各グループが独自の工夫を凝らしているのが素晴らしい」、「後輩たちも先輩との仲が深まる機会となっている」、「3年生にとっては、教えることの大切さや大変さを体験できたことが良い経験」といった評価があった。また、教職員は授業を体験し、その気づきを付箋に記入して共有した(図8)。この振り返りの過程で、「教職員自身も楽しさを感じた」との声があり、授業を通じて教育の質が向上することが期待される。



図8 教職員の気づきメモ

4. 学校の教育力の向上

「先輩授業 day」の実施は、教職員の授業体験を通じて、教育環境の改善に向けた新たな気づきを促進した。教師間で得られた意見やアイデアを付箋に記録し、それを共有することで、教育実践における自己点検と振り返りが行われた。このプロセスを通じて、学校全体で主体的な学びの重要性が再認識され、教育の質の向上に貢献することができた。さらに、成果をまとめた「先輩授業 day 新聞」(添付資料)を全校生徒および教職員で共有したことにより、学びの循環が促進され、学校内外への発信が行われた。新聞は学校のホームページを通じて保護者や地域社会にも広まり、教育活動の透明性向上と地域との連携強化にも寄与した。また、この活動を契機に、教職員は教育環境の改善に対する意識が高まり、具体的な実践として2学期に「自学Week」(図9)の試行が行われた。この取り組みでは、生徒が自ら学習内容を選び、主体的に学びを進めることを重視した。従来の教師主導の課題形式から、学習内容の自己決定を促す形式に移行することで、生徒一人ひとりの学び方の見直し、学習の進化を促進することができた。その結果、65%の生徒が「良かった」と回答し、学習方法をシェアする場も増え、積極的に学びに取り組む姿勢が育成された。この成果を受け、放課後補習の方法にも改善が見られ、3学期は生徒自身が学習内容を選択できるスタイルを導入が決定される予定である。こうした一連の取り組みは、学校全体の教育力向上を目指す確かな一歩となっている。

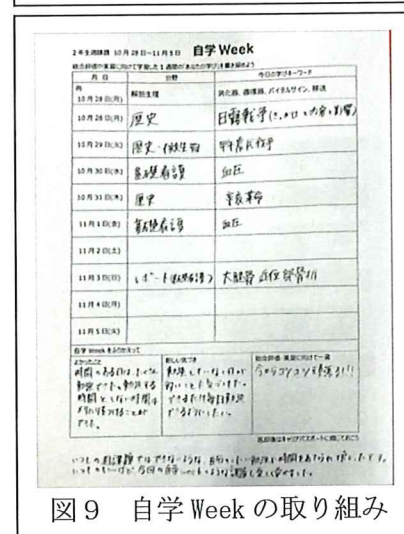


図9 自学Weekの取り組み

5. 新たな可能性に向けて

「先輩授業 day」を通じて得られた経験は、教育現場における新たな可能性を示唆している。教師が生徒の主体性を引き出す取り組みを進めることで、学びの循環が生まれ、学校全体の教育力向上が期待される。また、地域の専門家や卒業生を招いた特別授業を先輩授業の試みと組み合わせることで、生徒は学問や職業とのつながりを実感し、学びの意欲を一層高めることができる。また、このような取り組みは、出席状況の改善や不登校対策にも寄与する可能性があると考えられる。今後は、実践の効果を継続的に評価し、改善点を明確にししながら、教育環境の更なる向上を目指していきたい。

先生役を務めた3年生に聞きました

◇3年生の気持ちの変化

あなたは数学が好きですか？

	5月	本番前日	実施後
好き	54%	62%	72%
嫌い	46%	38%	28%

今日の数学の先生は3年生
先輩授業 day



日時：7月16日(火)
5限「新しい折り紙体験！」
6限「線で見つける可能性」
※科目：算数/幾何、対称・図学/数学の発展、もじり

◇先生役をすると聞いて気持ちは・・・

	5月	本番前日
よし！やってみる	23%	19%
何とかなりそう	33%	57%
不安	41%	24%
嫌だやりたくない	3%	0%

◇チャンスがあれば、また、先生役を務めたい？

はい 85% いいえ 15%

◇準備期間に感じたことキーワード

チームワーク リハーサルと改善 役割分担と協力
創造的な取り組み



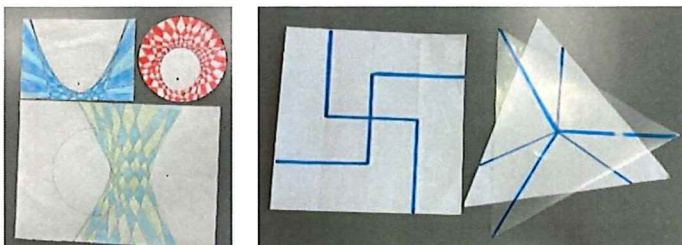
◇先輩授業本番に感じたことキーワード

楽しそうな雰囲気：みんなが楽しそうにしていたことが印象的
やりがいと成長：「おー」という声が出て、事前準備の成果が
実を結んだ瞬間！

予想外の答え：想定していなかった答えがたくさん出たことは、
授業の面白さを感じた瞬間

緊張のほぐれ：緊張がほぐれて授業のしやすさを体感

交流と異なる視点：1・2年生との交流やクラスの違う考え方が
出てきたことは、新たな視点を得た瞬間



◇先生役が感じたチームメイトのすごさキーワード

先役の説明力と配慮：先生役の3年生がわかりやすいように
説明の仕方を練ってくれたことは、学習体験に大きな影響があ
る。理解しやすい説明は、授業の質を向上させる効果がある。

協力とシミュレーション：チーム全体で協力し、本番を想定し
て何度もシミュレーションを行った。失敗を最小限に抑えるため
の対策が成功につながった。

質問や話しかけやすい雰囲気：質問や相談がしやすい雰囲気
を作り、楽しく授業を進めることは、学習環境を良好に保つ
重要な要素。

進行と臨機応変さ：進行をスムーズに行い、臨機応変に対
応してくれたことは、授業の円滑な運営に貢献。

役割分担と準備：チームメイトたちがそれぞれの役割を理解し、
準備を進めたことは、授業の成功に欠かせない。

後輩へのサポート：優しく声をかけ、困った時に教えてあげた
姿勢は素晴らしいです。

アドリブと明るさ：先生役のアドリブやみんなの明るい雰囲気
が、授業を楽しく盛り上げた。

ヒントと意見の共有：ヒントの出し方や意見の共有がスムーズ
に行われ、効果的な授業を実現。

絵の工夫：図形に合ったキャラクターを使い、分かりやすく授業
を進めたことは素晴らしいアイデア。

リハーサルと臨機応変さ：リハーサルでの課題を克服し、本番
でも臨機応変に対応できたことは素晴らしい成果。

◇先生役から見た1・2年生の様子キーワード

楽しそうな様子：生徒たちが楽しそうに班で相談しながら話し
合っていたこと。

真剣な取り組み：真剣に考え、授業がスムーズに進むよう協
力してくれたこと。

積極的な発表：積極的に発表し、想定外の答えが出て発想
が豊かだったこと。

緊張と喜び：1・2年生も緊張していたが、ワークシートを見
てガッツポーズをするなど、真剣に取り組んでくれたこと。

◇今回の経験を通して成長できたと感じること

教えることの難しさと喜び コミュニケーション能力
リーダーシップ 時間効率



授業を受けた1・2年生に聞きました

◇先輩授業 day の取り組みは **よかった 100%**

◇先生役3年生のすごさキーワード

5 時間目

意見をまとめ、進行できる 明るく聞き取りやすい声
分からない様子をくみ取る声かけ 質問に対するヒント

- ・先生役のアプローチは素晴らしく、他の学習者にとっても参考になる。
- ・先生役の積極的で優しい姿勢は、授業の雰囲気良くし、学習者たちに自信を持たせる。
- ・質問や疑問に対して丁寧に対応し、学習者たちの成長をサポートできる。

◇6 時間目 先生役3年生のすごさ

実演と説明 積極的なサポート 明るく楽しい雰囲気
臨機応変な対応

- ・前で実演し、重心チェックやセルフチェックをわかりやすく説明。ジェスチャーや体の動きで表現し、理解しやすくする工夫をしている。
- ・周りを見てアドバイスをしたり、班活動中も話しかけたりしながら、わからないところを丁寧に教えている。
- ・笑顔で明るく接し、授業を楽しく進め、場を盛り上げ、みんなが楽しく学べるように意識している。
- ・パソコンの不具合にも臨機応変に対応し、全員のグループを回ってサポートしている。

◇印象に残ったことキーワードベスト3

5 時間目「新しい折り紙体験」

- 1 位 セルフチェック (スマホ老眼チェック)
- 2 位 楕円
- 3 位 双曲線・焦点

6 時間目「線で見つける可能性」

- 1 位 セルフチェック (重心チェック)
- 2 位 重心
- 3 位 正三角形の3分割



◇一緒に授業を受けた仲間“きらっとさん”

- ・**さん**：色んな案を出していて、積極的に意見を発表していました。
- ・**さん**：ひらめき力が素敵！
- ・**さん**：書いてくれたり、積極的に意見を言ってまとめてくれたりしました。
- ・**さん**：たくさん答えていて、積極的に発表していました。
- ・**さん**：発表していて、質問に対して正解の答えをばんばん出していました。
- ・**さん**：前に黒板に書きに行ったり、発表したりして、積極的に参加する姿が良かったです。
- ・**さん**：前に出てどんどん発表していた。

◇先輩授業 day を振り返って感じたことキーワード

学年を超えたつながり：先輩との関わりが少ない中で、交流の機会が得られた嬉しさ。

新鮮な学び：普段とは違う授業スタイルが新鮮。

数学への苦手意識の薄れ：苦手な数学を楽しいと感じる

笑顔の力：先輩との交流で笑顔が与える大きさを知りました。

主体的な学び：自分も後輩に教える立場になってみたい

◇もし、チャンスがあるなら「先生役」をしてみたいですか？

はい **57%** いいえ **43%**

授業を観察した先生方に聞きました

◇先輩授業 day の取組は **よかった 100%**

◇先輩授業 day の取り組みから感じたことキーワード

先生役グループの方法の違い：それぞれの先生役のグループが異なる方法で授業を進めていたことが、生徒たちにさらなる学びをもたらした。

教えることの大切さ：3年生にとっては、教えることの大切さや大変さを体験できたことが良い経験。

生徒同士の仲が深まる時間：後輩たちも先輩との仲が深まる機会となったことが素晴らしい。

算数・数学学びの年表

学年	単元	学習内容	指導方法	学習成果	指導方法	学習成果	指導方法	学習成果
1年	1	数の性質
	2	図形
	3	割合
2年	1	数の性質
	2	図形
	3	割合
3年	1	数の性質
	2	図形
	3	割合

6年 線で見つける可能性

7年 新しく折る体験

12年間の学びを一覧にした 算数・数学学びの年表